

議員提出第10号議案

アメリカ合衆国の未臨界核実験に抗議し国際社会の平和と安全を
求める決議

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第13条第1項の規定により提出する。

令和元年7月3日

提出者

足立区議会議員	西の原	えみ子
同	ぬかが	和子
同	はたの	昭彦
同	浅子	けい子
同	山中	ちえ子
同	横田	ゆう
同	きたがわ	秀和

足立区議会議長 鹿浜 昭 様

(提案理由)

アメリカ合衆国の未臨界核実験の実施に抗議するため、本案を提出する。

アメリカ合衆国の未臨界核実験に抗議し国際社会の平和と安全を求める決議

アメリカ合衆国が、2月13日に核爆発を伴わない未臨界核実験を行ったことをアメリカ核研究機関ローレンス・リバモア国立研究所が発表した。トランプ政権として未臨界核実験は2回目であり、これ以上の実験をやめるよう抗議する。

今、国際社会は、「核兵器のない世界」に進むことが大きな流れとなっている。国連では核兵器禁止条約が採択され、市民社会では核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）がノーベル平和賞を受賞したという2つの出来事は、日本の被爆者の長年にわたる勇気ある取り組みの成果である。今回明らかになった未臨界核実験の強行は、この世界の流れに真っ向から反するもので認めることはできない。

今回の実験は、包括的核実験禁止条約（CTBT）で禁止される「核実験」には該当しないものとはいえ、アメリカ合衆国が北朝鮮に対し非核化を求める一方で未臨界核実験を続けることは、国際社会の核軍縮に向けた機運を消沈させ、全世界の人々の核兵器のない世界への願いを踏みにじるものである。

足立区議会は、「平和で安全な都市」であることを目指し、区に対し平和と安全の都市宣言を行うよう強く求めることを決議した。区は、これを受けて、平成14年区制70周年にあたり、「平和と安全の都市宣言」を行い、区民をあげて国際社会の平和と安全を維持するために貢献することを誓った。こうした立場からも、このたびのアメリカ合衆国の核実験を容認することはできない。

よって、足立区議会は、アメリカ合衆国の未臨界核実験の実施に抗議し、今後アメリカ合衆国が核兵器の実験中止及び核兵器の廃絶と世界平和の実現に向け、より一層積極的な役割を果たすことを強く求める。

以上、決議する。

令和 年 月 日

足 立 区 議 会